

東京キリスト教学園 ボランティアセンター活動報告vol.7



2013/6/17

■いつもお祈り感謝いたします。

ボランティアセンターは今年度「忘れない」と言うテーマのもとTCUからボランティアを派遣して行きたいと思えます。

震災からもう2年三カ月経ちましたが未だに先の見えない被災地と、取り残された気持ちでいる被災地の方を忘れてはいないでしょうか。祈禱課題に東北の復興のためにと書いてあっても特別に覚えて祈っているのでしょうか。東仙台キャンプに行った伊能君の聞いた「まだ僕たち仮設住宅に暮らしているのに」と言う子供の言葉が私の心に響いています。被災者の気持ちに寄りそうボランティアセンターとして活動できるように。そして何より被災された方々の為にお祈り下さい。

■東仙台教会主催キャンプ

今回で4回目になるキャンプは、今までと同様に津波で壊滅的な被害を受けた宮城県の野蒜地区にある野蒜小学校の子供たちを対象として2013年4月1日～4日に秋保(あきう)グランドホテルで行われました。60～70人の子供と保護者が参加しスタッフ合わせて107人のキャンプにTCUからは3人の学生が参加しました。TCUタイムと言う時間をいただき「3本の木」のスキットが行われました。



◇証:星野 茉依子

東仙台春キャンプは、震災で被害にあった地域の子どもたちを集めて、2泊3日でホテルを借りて、様々なプログラムを通して体験的に神様の愛を知ってもらうものです。

ですから、ほとんどの子どもたちは、同じ学校の顔なじみです。そして、教会に来たことがないという子たちもほとんどです。

まず私が驚いたのはその規模です。バス2、3台を使うというもはや、修学旅行のようなものです。私は小学1、2年生の11人のカウンセラーの担当でした。

1日目の夜、ある一人の子が「寝られない...。」と訴えました。「じゃあ一緒に寝ようか!」私はそう言い、一緒に布団に入りました。その時震災で両親をなくされた子のことを思いました。それを思うと、寂しさや、不安を感じている子たちと、一緒に寝ること一緒にいること、これだけで良いと思えました。むしろ、私たちにはこのようなことしか出来ないとも思われされました。

◇先生からのお礼状

今回のキャンプのお礼として先生方からボランティアセンター宛てに手紙を送って下さいました。

3名と私達のサポートを送って下さりありがとうございました。今回は約110名参加と、3人の助けがどれ程大きかったかは言う間でもありません。とても助けられました。心から感謝しています。

■ボランティアセンターの流れ

2011年3月11日の直後の2011年3月23～29日に『第1陣』を派遣、第2陣(3/28-4/2)、第3陣(3/31-4/5)・・・と、震災直後7つものチームを被災地に送り、その後もボランティアチームを送り続けました。

2011年⇒13チームを派遣

2012年⇒9チームを派遣&個人派遣3回

4人で活動しています。

学部4年 豊島集司
学部3年 鈴木美津子
学部2年 西岡牧葉
院1年 伊能悠貴
1年交替で、第3期目です。



■学内活動

4/23(火) 報告会&祈禱会

毎週火曜夕食時:情報交換と祈る時を持っています。是非、一緒に祈りましょう。

■募金報告

4月8日～4月12日に行ったチャペル後に行った募金活動での献金は39604円も集まりました。

残金は今回の献金を合わせて401936円。2013年春の東仙台キャンプに行った学生の健康診断料金に一人当たり5000円を補助として出したので、401936円-5000円×3=386936円となります。

この資金は学生がボランティアに行く際にサポートとして使われます。

■今後の活動

・夏季伝チームの中にボランティア枠で宮古コミュニティチャーチへ派遣が決まりました。

・夏の8月19日(月)～23日(金)で行われる東仙台子どもキャンプに7人を派遣することが決まりました。

★募集★東仙台の子ども冬キャンプ

12月25日(水)～28日(土)

詳しくは、豊島集司(080-4797-1195)まで。